

**単元のゴール**

- ・簡易化されたゲームで、ボール操作やボールを受けるための動きによって、攻防をすること。(技能)
- ・運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。(態度)
- ・ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができるようにする。(思考・判断)

**単元に係る児童生徒の実態 (技能)**

児童は3年生の時にタグラグビーの学習を行っている。その学習を通して、ボールを持った時にゴールに体を向け、前へ進むという動きは身に付いている。しかしながら、味方にパスを出したり、味方からパスをもらったりする動きはまだ十分身につけていない。また、タグを取られることはいけないことだという認識の児童もおり、ボールを持った際に敵がくると、後ろに下がってしまう児童もいる。

**単元のゴール (技能)**

- ・パスやキャッチなどの基礎的なボール操作ができる。
- ・ボールを受けることができる位置でサポートをすることができる。
- ・作戦におけるボール操作やサポートをすることができる。

**教師の指導観 (技能)**

ボール操作の技能向上、試合での動き方がしっかりと身に付けさせ、タグラグビーの楽しさを味わわせるために、慣れの運動ではボール操作や基本的な動き方を身に付ける運動を行う。また単元前半ではチームとしての技能を身に付けるためのタスクゲームを取り入れる。タスクゲームはアウトナンバーのゲームでボール操作の技能とともにボールを受けるための動きも身に付けさせていく。さらに資料やICTを用い、よい動きを全員で共有するとともに、教師と児童のやりとりからよい動きを児童が見いだすことで、より効果的に技能を高めていく。

**単元に係る児童生徒の実態 (態度)**

体育の授業は好きですか			
好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
25人	7人	4人	0人
タグラグビーの授業は好きですか			
好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
9人	15人	6人	6人
タグラグビーでやってみたいことは何ですか (複数可)			
協力してたくさんトライを取る	17人		
相手をかわす	17人		
パスを上手にわたす	16人		
たくさんタグを取る	25人		

多くの児童は体育を好きと感じているものの、1/3の児童はタグラグビーを好きではないと感じている。理由としては、ルールが難しいことやあまりやったことがないことを理由に挙げている。また、タグラグビーでやってみたいことでは、多くの児童がたくさんタグを取ることを挙げた。

**単元のゴール (態度)**

- ・用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。
- ・友達と協力し、意欲的にチーム練習に取り組もうとしている。
- ・チームで競い合う楽しさやできる喜びに触れ、タグラグビーに進んで取り組もうとしている。

**教師の指導観 (態度)**

児童がタグラグビーを好きではないと感じている理由の1つにルールが難しいことが挙げられていることから、メインゲームを3対3の簡易化されたゲームにする。またゲームを成立させるうえで重要なルールであるオフサイドも教具を工夫し、確実に身につけてゲームに臨ませる。さらに意欲的にチーム練習に取り組めるようにするためにメインゲームの開始前と終了後に作戦タイムを設定する。その際に具体的な話し合いができるように作戦ボードを用意する。また、運動が苦手な児童も積極的に話し合いに参加できるようにチームカードを活用させる。また仲間との認め合う活動も、児童が意欲的に運動するための重要な活動であると考え、そのため認め合う活動を充実させるために、毎時間チーム内MVPを決めて仲間を称賛させる。技能面だけでなく、用具の準備や後片付け、仲間への声援などの態度面からも考えてMVPを考えさせ、運動が苦手な児童も認められるようにする。

**単元に係る児童生徒の実態 (思考・判断)**

児童はこれまでの学習で、よい動きと自分の動きを比較したり、友達の動きを見合ったりすることで自分の課題を把握し、解決の場を決定するを行ってきた。しかし、学習カードの振り返りの記述では、課題の根拠や解決のための方法を具体的に記述できる児童は少ない。

**単元のゴール (思考・判断)**

- ・よりよいサポートの仕方について考えている。
- ・チームの課題に応じた練習を工夫している。
- ・作戦における動きのポイントを考えている。

**教師の指導観 (思考・判断)**

メインゲームは3対3で行い、最初のパスを出す、パスを受ける、ボール保持者のフォローに走るという役割を明確にすることで、児童がサポートの動きをより判断しやすくなるようにする。また、屋上にビデオカメラを設置し、ゲームの様子を撮影することで、チームの課題を児童が客観的に把握できるようにする。チーム練習を考えるのが困難なチームには課題に応じた練習例を示し、児童が意欲的に練習をできるようにしていく。作戦ボードや資料等も準備し、児童の思考の手助けとなるようにする。

**授業のねらいと指導内容及び願う子供の姿**

時	◎授業のねらい ○指導内容	◆各時間終了後の願う子供の姿
1	◎タグラグビーをもっと詳しく知ろう ○学習、ゲームの進め方や約束 ○用具の準備の仕方	◆用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。
2	◎タグを取られた後落ち着いて味方にパスをしよう ○味方への取りやすいパス (胸へ) ○走りながらのキャッチ	◆パスやキャッチなどの基礎的なボール操作ができる。
3	◎パスをもらうためのサポートの仕方を考えよう ○三角形をつくる。ボール保持者の両隣につく	◆よりよいサポートの仕方について考えている。
4	◎勢いのあるサポートの仕方を考えよう ○走りながらのサポート、走りながらのパスキャッチ	◆ボールを受けることができる位置でサポートをすることができる。
5	◎チームの課題を考え、チーム練習をしよう。 ○課題をとらえ、その練習方法を考える。(選択する)	◆チームの課題に応じた練習を工夫している。
6	◎チームの作戦 (役割) を考えよう ○自チームの特徴から作戦 (役割) を考える。 役割 ①フリーパス ②引きつけ ③突破	◆友達と協力し、意欲的にチーム練習に取り組もうとしている。
7	◎作戦における動きのポイントを考えよう。 ○相手を引き付ける、空いている味方にパス	◆作戦における動きのポイントを考えている。
8	◎作戦におけるボール操作やサポートを身に付けよう ○①フリーパス②相手を引き付ける動き③突破	◆作戦におけるボール操作やサポートをすることができる。
9	◎仲間と協力して、ゲームを楽しもう。 ○タグラグビー大会	◆チームで競い合う楽しさやできる喜びに触れ、タグラグビーに進んで取り組もうとしている。

**学習過程**

時	1	2	3	4	5	6	⑦	8	9
5	オリエンテーション	集合・整列・健康観察・挨拶・準備運動							
		慣れの運動 (対面パス、宝取り鬼、ランパス競争)							
15	・学習の約束 ・学習の進め方 ・学習カードの使い方 ・準備の仕方 ・ボール慣れ ・タグ取り鬼 ・ドリルゲームの仕方 ・試しのゲーム	ねらい① サポートの仕方を身に付け、パスをつないでトライにつなげよう!	ねらい② チームで作戦を考え、全員でトライを取ろう!	タスクゲーム サポートラッシュ	学びの時間	チーム練習の時間			
40		メインゲーム 第1試合 作戦タイム 第2試合 振り返り	チーム練習 試しのゲーム	メインゲーム 第1試合 作戦タイム 第2試合 振り返り				タグラグビー大会	
		学習のまとめ・次時の予告・後片付け・整理運動・挨拶							

ストーリーデザイン

- 1時間目**  
 1 学習のねらいと進め方を知り、単元の見直しをもつ  
 2 準備運動、感覚づくりの運動の行い方を知る。  
 3 タスクゲームの行い方を知る。
- 2～4時間目**  
 1 感覚づくりの運動を行う。  
 ・対面パス、宝取り鬼  
 2 タスクゲームを行う。  
 ・サポートラッシュ  
 3 メインゲームを行う。  
 4 学習を振り返る。
- 5時間目**  
 1 学びの時間を行う。  
 2 チーム練習を行う。  
 3 試しのゲームを行う。  
 4 学習を振り返る。
- 6～8時間目**  
 1 感覚づくりの運動を行う。  
 ・対面パス、宝取り鬼、ランパス競争  
 2 チーム練習を行う。  
 3 メインゲームを行う。  
 4 学習を振り返る。
- 9時間目**  
 1 トーナメント戦を行う  
 2 単元を通してのまとめをする

本時の慣れの運動

**【宝取り鬼】**

**【ルール】**  
 ・フルコートで行う。  
 ・攻撃側は守備を抜き奥にある玉を取る。  
 ・タグを取られたり、線を出たりしたらスタートに戻る。  
 ・守備側は範囲の中を移動し来る相手のタグを取る。  
 ・取れた玉の数を競う。

【ランパス競争】

**【ルール】**  
 ・各チーム3人でボール保持者を先頭に三角形の位置でサポートしながらランニングパスをしていく。フリーパスを除いて必ず全員ボールに触れる。  
 ・2往復でゴールとする。  
 ・チームのタイム、クラスの合計タイムで最高記録を目指す。  
 ・1往復したら2人交代する。

本時の目標 作戦における動きのポイントを考えている。【思考】

本時の展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (○指導◆評価規準△努力を要する児童への手立て)
1	集合・整列・挨拶・健康観察をする。	○素早く集合・整列させ元気よく挨拶させる。
2	準備運動をする。	○健康状態を把握し、服装を整わせる。 ○関節部分のほぐしをしっかりと行わせる。
3	慣れの運動をする。 ○タグとり鬼○宝とり鬼○ランパス競争	○各運動を正確に行うように声かけをし、よい動きをしている児童や意欲的に運動している児童を称賛する。 ○主運動と関連させながら行わせる。 ○動きのポイントをおさえている児童を称賛し、意欲を高めるとともに動きを全体に広める。
4	本時のねらいを確認する。	○本時のねらいを確認するとともに前時に頑張っていた児童を称賛し、意欲を高める。
5	チームの課題を確認し練習をする。	○前時の動きでよかった動きを紹介し、全体に広める。 ○本時の課題を知り、どんなサポートの仕方がよいか考えさせる。 ○スケッチブック等を使い児童に考えを発表させる。 ○考えた動きをチーム練習やメインゲームで行うように声かけをする。 ○サポートのための具体的な声かけや称賛の声かけを多くし、よい雰囲気で行わせる。 ○どんな練習をしたらよいか分からないチームには具体的な練習方法を提案する。 ○様々な役割を体験できるように、セットごとに役割を変えるように声かけをする。 ○3人がそれぞれの役割(フリーパス、引きつけ、突破)をしっかりと果たすように声かけをする。 ○元気にファイトコールをする。 ○チームで声をかけ合いながら試合をすることを意識させる。 ○よい動きや声をかけている児童を称賛する。 ○トライが取れないチームには三角形を作ることを意識させる。 ○チーム練習で行ったことがうまくできないチームには作戦ボードを活用し動き方を再確認させる。
	<b>【ルール】</b> ・1試合4分(前後半)、3対3で行う。 ・タグを取ったら大きな声で「タグ!」と言う。 ・タグは4回取られたら交代する。 ・オフサイドをしたら、その場所からタグ0回から始める。 ・反則(スローフォワード)はその場所から相手ボールで始める。 ・タグを取られたら3歩・3秒以内に次の人にパスを出す。ただし、トライの時は3歩以内でも取られたところまで戻って開始する。	◆作戦における動きのポイントを考えている。 【思考】
		【努力を要する児童(チーム)への手立て】 △作戦が成功する動き方について資料を見せ、教師が助言する。 【十分満足できると判断できる児童(チーム)への発展的な内容】 ○チームの作戦がうまくいくように、友達にアドバイスするように助言する。
7	後片付けをする。	○素早く、安全に気を付けて行わせる。
8	学習カードを記入する。	○今日うまくいったことをチームで話し合い、カードに記入させる。
9	学習のまとめをする	○本時の学習課題の振り返りを行う。
10	整理運動をする。	○今日うまくいったことをチームで話し合い、カードに記入させる。
11	次時の予告を聞く。	○本時の感想、MVPを発表させる。 ○1つ1つの動きを丁寧に行わせる。
12	挨拶をする。	○次時の活動内容を知らせ、意欲化を図る。 ○気持ちのよい挨拶で学習を終わらせる。

主体的学び

児童が難しいと感じているルールを簡易化したり、児童がやってみたく感じているタグを多く取ることができるようにコート大きさやメインゲームの人数を工夫したりする。また、パスやタグを取る技能、相手をかかわすなどの技能を身につけるために、慣れの運動やタスクゲームを工夫する。

対話的学び

作戦タイムや、チーム練習の時間を設定することで、子供たちが対話的に課題解決に取り組めるようにする。またチームの具体的な課題を把握できるように自分たちの試合の動画を見せ、課題やチームの特徴を考えさせるようにする。

深い学び

振り返りの時間にMVPを発表させたり、学習カードへ記述したりすることで自己やチームとしての技能の向上を感じ取り、児童がタグラグビーを「楽しい」「もっとやりたい」「もっとうまくなりたい」と感じられるようにする。

今後の展開

- 8時間目  
 作戦におけるボール操作やサポートを身に付ける。  
 【身に付けさせたい動き】  
 ①フリーパス  
 ②相手を引き付ける動き  
 ③突破
- 9時間目  
 仲間と協力して、タグラグビー大会を楽しむ。
- 中学校との接続  
 中学1・2年生で学習する内容は以下のとおりである。  
 【ボール操作の技能】  
 ・守備者がいない位置でのシュート  
 ・得点しやすい味方へのパス  
 【ボールを持たないときの動き】  
 ・ボールとゴールの見えるポジションニング  
 ・ゴール前への動きだし  
 ・ボール保持者のマーク

願う子供の姿

- ・仲間との活動を通して、運動の行い方が分かり、それに関する技能(パス、ラン、ボールを持たない動き、タグを取る)を身に付け、攻防を楽しむ姿。
- ・チームの作戦を考えたり、課題にあった活動の仕方を考えたり、選んだりする姿。
- ・ルールを守り協力して活動行ったり、場や用具の安全に気を配ったりする姿。